

建築版	施工段階	設備工事：	電気	○	設備工事 ポイントシート (1-4)
1-5	着工時	主要機器搬入揚重計画	空調	○	
			衛生	○	
			その他	—	

主要機器の搬入遅れは設備工事の工程を圧迫し、試運転調整期間が十分に確保できず、その結果、品質が不十分であったり、設備の不具合のリスクが高くなります。

ポイント

■搬入機器の寸法と重量の確認

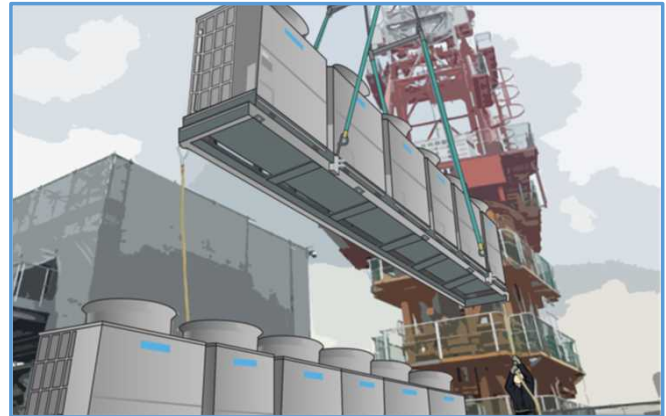
- ・機器寸法および重量を機器製作図等から確認した上、使用する揚重機の選定や搬入ルートを確認し、必要に応じて床補強等を行います。

■搬入開口の確認

- ・特に地下階において、搬入用仮設開口を設ける場合は、塞ぎの前に機器を搬入する必要があります。

■搬入経路の確認

- ・通路やマシンハッチ、仮設用昇降機の寸法を確認し、搬入に支障が無いが事前確認します。
- ・機器更新時についての考えを確認しておきます。



室外機ユニットの搬入

先輩アドバイス

- ・設備機器類の搬入時期は、設置後の試運転調整期間を十分に確保できるように設備担当者と早い段階で打合せます。
特に先行搬入が必要な場合は機器発注・承認時期にも影響します。
- ・屋上の室外機ユニット化や鉄骨建て方時のライザー配管工法等は、揚重回数を減らし、省力化、安全化が図れる工法です。



ライザー配管工法

チェック項目

- 全体工程の検討段階で、設備担当者と協議した上、設備工事についても考慮した工程となっていますか。
- 試運転調整期間を十分に確保するように搬入時期が計画されていますか。
- 機器重量に対して揚重機的能力は十分ですか。
- 搬入機器寸法以上の搬入経路幅と高さが確保できていますか。

失敗すると...

- ・発注者にとっては、設備の施工品質も重要であることを意識しましょう。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
	○	○	—	○	○	○	○	—	—
備考	参 考 文 献 :						初版発行	2020年12月	
							改訂		